ネットワーク視点の

NVIDIA DGX™

B300 大解剖

GPUを最大限活かすNVIDIA ConnectX®-8の役割

MACNICA

ネットワーク視点の

NVIDIA DGX™ B300 大解剖

GPUを最大限活かすNVIDIA
ConnectX®-8の役割

NVIDIA DGX B300 概要	2
DGX B300 構成要素	3
ConnectX-8が8基 搭載される理由	4
ConnectX-8は帯域確保だけじゃない	5
DGX B300のシステム構成を考える	6
InfiniBandネットワークの特長	7
InfiniBand特有の機能 RDMA	8
InfiniBand特有の機能 SHARP	9
InfiniBand特有の機能 SHIELD	10
DGX B300 システム構成例(5ノード構成)	11
関連製品紹介	12
問い合わせ	13

大規模で複雑なAIジョブの限界を突破

NVIDIA DGX™ B300は、第5世代のNVIDIA DGXシステムで、NVIDIA B300 Tensor コア GPUとNVLink Switch System、NVIDIA ConnectX®-7を組み合わせた世界最速のAIシステムです。次世代アーキテクチャーを採用することで前世代と比較して2倍のパフォーマンスと2倍の高速ネットワークを実現し、企業のAIインフラの中核を担うように設計されています。

主な仕様と性能

▶ 仕様

B300 Tensor コアGPU 8基

合計GPUメモリ 2.3TB

第5世代 NVLink

GPU間相互接続

ConnectX-8 10基

GPUノード間接続用+ストレージ接続用

▶ 性能

性能2倍(72PFLOPS)

FP8 精度で前世代の2倍以上

GPU間帯域 14.4TB/s

双方向帯域幅

ピークネットワーク帯域 2TB/s

双方向帯域幅

ネットワーク帯域を確保し、ノード間のGPU演算速度を維持

GPUノード内(筐体内)の通信は高速GPU同士での処理となり、転送速度は理論上14.4TB/sとなります。一般的な構成でネットワークインターフェースが1ポートの場合、別ノード間通信でネットワークがボトルネックとなり通信速度を損失します。一方、DGX B300では ConnectX-8 8基により1.6TB/sの帯域を確保することができ、ネットワークにおけるボトルネックを解消します。GPUの演算速度を落とさずネットワーク構築が可能なDGX B300は、クラスター性能が非常に重視される大規模なAI分散処理に、最適なシステムといえます。

一般的な構成 (ネットワークインターフェース1ポートの場合)

DGX B300構成 (ネットワークインターフェース8ポートの場合)

※通信速度帯域はいずれも双方向帯域幅、GB単位

GPU-Direct RDMAがノード間通信高速化に貢献

GPU-Direct RDMAとは？

GPUノード間通信でホストCPUを介さずGPUメモリ同士が直接データ転送をする技術です。ConnectX-8のRDMA機能とCUDA TOOL KITによりGPU-Direct RDMAを実現し、ノードを跨いだGPUメモリ間データ転送をハードウェアへオフロードが可能となります。

効果

- レイテンシーの大幅な改善
- スループット性能の向上
- CPU使用率の低減

複数ノードのDGX B300を構成するときに考慮すべきポイント

■コンピューターネットワーク

- InfiniBandのLeaf - Spineのノンブロッキング構成を組む
 - …多くのHPCシステムで採用されるアーキテクチャー
 - …AIの多岐に渡るワークロードに対応可能、DGX B300のようなハイパフォーマンスコンピューティングなサーバーに最も適した構成
- スイッチはInfiniBandを使用
 - …SHARP・SHIELDと呼ばれるIn-Networkingコンピューティングをサポート
 - …高性能なネットワークファブリックを構成可能

■ストレージネットワーク

- DGX B300内ConnectX-8をEthernetスイッチに接続し、冗長構成を組む
 - …DGX B300はノードあたり30TBの内部ストレージを保有
 - …NVIDIA提供Magnum IOの利用で、高速ストレージの拡張が可能
 - …ストレージの高速化とスケーラビリティにも対応した構成を実現

■物理結線

- OSFPのOpticalモジュールおよびケーブルを利用して構成
 - …DGX B300はコンピューター用インターフェースとしてOSFP(1.6Tbps) 4ポートをサポート
 - …スイッチおよびDGX B300の内部は800Gbpsで接続
 - …ストレージ用インターフェースはQSFP-DDをサポート

主な特長

高帯域なネットワークリンク

- ▶ 最新の世代はXDR(800bps) のネットワークリンクを提供

超低遅延なパケット転送

- ▶ 大規模環境でも、End to Endで1us未満の低遅延ネットワークが可能

ハードウェアベースの転送プロトコル

- ▶ 転送の高速化やCPUリソースの削減に寄与

信頼性の高いネットワーク

- ▶ クレジットベースのフロー制御でロスレスファブリックを実現

InfiniBand特有の機能 ▶ 更なる高性能ネットワークを実現

RDMA

ロスレスなデータ転送を実現

SHARP

AI/深層学習環境の分散処理を効率的に実行

SHIELD

大規模なInfiniBandネットワークを堅牢に

RDMA(Remote Direct Memory Access)

InfiniBand HCAで実装可能なCPUオフロード機能

- ノード間データ転送をメモリ to メモリで完結
- CPUを介したデータ転送処理のボトルネックを解消し、CPUリソースの削減に寄与
- クレジットベースの転送で、ロスレス ファブリックを実現

SHARP(Scalable Hierarchical Aggregation and Reduction Protocol) InfiniBandスイッチに実装されるMPI・SHMEM通信のオフロード機能

大規模集合演算環境の課題

- ノード数を増加させても処理性能が頭打ちに
- 集合演算によるCPU負荷高騰により通信遅延も発生
- 演算処理がネットワーク負荷を増加させる
- ノード任せの処理ではネットワークを効率的に使用できず、ネットワークのボトルネックを生む原因になり得る

SHARPが解決の糸口

- MPIやSHMEM通信を使用した集合演算処理を、スイッチ上で処理
- HPCや分散学習を行うアプリケーションで効果を発揮

SHIELD(Self-Healing Interconnect Enhancement for Intelligent Datacenters) InfiniBandネットワークの障害から高速に自己回復するための機能

- 専用のリニア・フォワーディング・テーブル(LFT)で経路管理しサブネットマネージャー (SM)の介入なしに通信経路を選択
- SMによる回復よりも最大5000倍の回復速度を提供
※SMによる経路管理をしている数千、数万ノードのクラスタ環境だと回復に30秒程度かかるケースもある
- 障害後もシームレスな計算を維持し、堅牢で回復力のあるネットワークを実現

通信起点から見て障害発生ポートの代替ポートが存在する場合

代替ポートを使用した経路へ即座に切り替わり、ネットワークが回復する。

通信起点から見て障害発生ポートの代替ポートが存在しない場合

アダプティブ・ルーティングの通知機能も駆使し、経路の再計算を高速に行うことでネットワークを回復する。この時の回復までの時間は1us程度。

システム構成例

構成例のBOMリスト

カテゴリ	型番	数量	説明
GPUサーバー	DGX B300	5	
InfiniBand スイッチ	QM9700	4	Quantum-2-based NDR InfiniBand switch, 32 800Gbps OSFP ports (64 400Gb/s ports)
Ethernet スイッチ	MSN5600	2	Spectrum-3 based Ethernet switch, 64 800Gbps OSFP ports
トランシーバー (InfiniBand)	MMS4A00	60	OSFP twin-port 850nm transceiver コンピュート向けDGX - スイッチ間 およびスイッチ間用
MPOケーブル	MPF7E30-Nxxx	60	passive fiber cable, MMF, MPO to MPO コンピュート向けDGX - スイッチ間 およびスイッチ間用
AOCケーブル	MCP7Y10-N00x	10	800GbE PAM4 QSFP-DDストレージ向けDGX - スイッチ間用

ラックデザイン例

関連製品紹介

DGX B300をご利用いただく場合、こちらのNVIDIA関連製品をおすすめします。

InfiniBandアダプター

- NVIDIA ConnectX-8
 - 16 Core / 512 Threads Datapath Accelerator
 - Full Transport Offload and Telemetry
 - Hardware-Based RDMA/GPUDirect
 - MPI Tag Matching and All to All

InfiniBandスイッチ

- NVIDIA Quantum-2 QM9700
 - 64-Ports of 400 Gbps
 - 128-Ports of 200 Gbps
 - 66.5B packets per sec (64B)
 - 51.2Tb/s aggregate bandwidth

Ethernetスイッチ

- NVIDIA Spectrum SN5600
 - 64-ports of 800 Gbps
 - 33.3 packets per sec
 - 51.2Tb/s Max throughput

MACNICA

・本資料に記載されている会社名、商品、サービス名等は各社の登録商標または商標です。なお、本資料中では、「™」、「®」は明記しておりません。・本資料は、出典元が記載されている資料、画像等を除き、弊社が著作権を有しています。・著作権法上認められた「私的利用のための複製」や「引用」などの場合を除き、本資料の全部または一部について、無断で複製・転用等することを禁じます。・本資料は作成日現在における情報を元に作成されておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

お問い合わせ

株式会社マクニカ クラビス カンパニー NVIDIA製品担当 | 〒222-8561 横浜市港北区新横浜1-6-3 マクニカ第1ビル

045-470-98 **clvinfo@macnica** **<https://www.macnica.co.jp/business/semiconducto>**